



# 原口 総合法律事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目4番3号  
KDX虎ノ門ビル 9階  
Tel: 03-6205-4404 Fax: 03-6205-4405  
E-mail: kharaguchi@haraguchi-law.com

所長 弁護士 原口 薫

2016年4月27日

## モンゴルにおける保健医療分野の民間進出の支援 (JICAの民間連携事業)

### I. はじめに

本日の日経新聞によれば、政府や医療機器メーカーが連携し、日本企業の主導で、2016年度中に中国で生活習慣病の治療を中心とした病院を開設するとのことである。中国は近年、食事の欧米化などで糖尿病患者が1.4億人、予備軍を含めて2.4億人に達したとの試算がある。5年から7年かけて上海や大連など中国国内に9拠点を設け、10病院で年間500億円ほどの売り上げを見込むとのことである。

我が国の政府開発援助（ODA）の実施機関であるJICAも、安部内閣の重点政策である日本再興戦略、インフラシステム輸出戦略、健康・医療戦略、国家保険外交戦略を踏まえ、途上国支援の経験を踏まえた貢献が求められている。中でもJICAはモンゴルに80億円を無償供与して教育病院を建設することとしており、モンゴルにおける保健医療分野への民間分野を支援する基盤は整っている。

### II. 保健医療分野におけるJICAと民間の連携

#### 1. 序

JICAのホームページによれば、JICAとしては日本の民間企業の優れた医療技術・サービスの海外展開にあたり、対象国の保険医療の状況に整合し、その住民の健康改善につながるものであることを前提として、次のような点を特に重視するとしている。

#### 2. 日本の重点政策との整合性

日本再興戦略、インフラシステム輸出戦略、健康・医療戦略、国際保険外交戦略等との整合性

特に日本再興戦略との関係では、医療機関と医療機器メーカー等が Medical Excellence Japan (MEJ) を通じて行う日本式医療の海外展開の動きに沿った事業化調査や海外投融資等の提案、国際保険外交戦略との関係ではユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の推進に資する案件を特に重視する。

### **3. 国別援助方針・保健医療分野ポジション・ペーパーとの整合性**

対象国に対する国別援助方針等、並びに、保健医療分野にかかるポジション・ペーパーおよび課題別指針等との整合性など。

### **4. 事業の持続性を担保するための対象国の保健衛生状況、人材の技術レベル等との整合性等**

- ・特に対象国の保険財政状況、経済・社会インフラ、医療従事者等の保険人材の保険人材の技術レベル・賦存状況、国内規制などとの整合性（当該事業を持続的に運営させるため）
- ・安全性・操作性の高さ（高度医療に関する事業を含む。以下同じ）
- ・ライフサイクルコストの節減効果等対象国の保険財政負担の軽減への寄与
- ・情報通信技術（ICT）などのセクター横断的な最新技術の応用

### **5. 他の JICA 事業との連携によるシナジー効果**

JICA の過去、現在、将来の保健医療分野の協力の拠点や人的ネットワークの活用

たとえば、JICA が有償、無償資金協力で整備した医療拠点への資金による日本の医療機器や医療システムの導入を支援。

JICA の途上国の政策・制度の改善にかかる取り組みとの連携による、（１）途上国の医療サービスの向上と（２）日本の医療機関や民間企業による市場開拓（特に日本企業に比較優位のある技術・製品）の両立。

たとえば、技術協力を活用し日本の基準を取り入れた医療技術基盤を作り、医療サービスの向上と日本の民間企業の市場参入障壁の克服に貢献

研修事業を活用し途上国医療関係者の日本の医療技術の理解度・信頼度を高め、現地での日本製品の導入、普及に貢献

### **6. 提案型の特性の活用**

民間セクターを直接の対象として幅広い保健医療課題の解決を支援できるという提案型事業の特性の活用、及び、これによる相手国政府による公的事業（ODA 事業を含む）との補完性・相乗効果（途上国の希少な資金・人材の最適な配分を歪めるリスクが小さいことが前提。）

### Ⅲ. 日本モンゴル教育病院建設計画

#### 1. 事業の背景と必要性

モンゴルの乳幼児死亡率、妊産婦死亡率は減少するなど国全体の基礎保険指標は改善しつつある。しかし依然として地域格差は大きく、地方の一次及び二次医療サービスの向上が保険セクターの課題となっている。

これに対し、モンゴル政府は保険セクター人材育成開発政策などにより地方への医療人員の配備等を推進することとし、医師については新卒者を地方の一次医療機関に二年間派遣しているが、臨床実習なしに派遣されるために診療技術の低さが問題となっている。

また、地方派遣後には臨床実習が行われるが、教育病院がなくウランバートルの市内の16の三次医療施設に実習先が分散されており、統一された教育プログラムがないなど医師の卒後研修体制が整っていない。

かかる状況の解決のため、モンゴル政府は、モンゴル全体の95%の保険人材を輩出する唯一の医療系国立大学であるモンゴル国立医科大学（ウランバートル市に初の教育病院を設置し、医師などの卒後研修の拠点とすると同時に、非感染疾患など優先度の高い三次医療サービスとウランバートル市内の二次医療サービスの提供拠点とし、医療サービスの向上を図る予定である。

#### 2. 事業の背景と必要性

##### (1) 事業の目的

本事業はウランバートル市においてモンゴル初の教育病院を整備することにより、非感染症疾患などで優先度の高い三次医療サービスおよび市内の二次医療サービスの提供並びに質の高い卒後研修提供体制の構築を図り、もってモンゴルの他の病院を含めた医療サービスの質の向上に寄与するものである。

##### (2) 事業概要

###### A 土木工事、調達機械などの内容

施設：外来（外科、外傷科、内科、神経内科、感染症科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻科）及び教育施設棟、入院棟（104床）。計16,505平方メートル、地上三階、地下一階建。

機材：CT, MRT, 血液造影装置、診断、治療機材等

###### B コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、施工調達監理、機材補修契約整理

##### (3) 総事業費・概算協力額

総事業費 84.38 億円（概算協力額 79.85 億円）

## VI. 結論

安部内閣はインフラシステム輸出戦略、健康・医療戦略、国家保険外交戦略を提唱し、日本の最高を図っている。日本の ODA の実施機関である JICA もその豊富な途上国支援の経験を踏まえた貢献が求められている。中でも JICA はモンゴルに 80 億円を無償供与して教育病院を建設する予定であり、モンゴルにおける保健医療分野への民間分野を支援する基盤は整っている。

以 上